

1059 包装分野における知的財産権・国際規格の活用

Practical Application of Intellectual Property Right and International Standards for Packaging

包装開発、ビジネス展開において重要な知的財産権及び国際標準化活動の活用方法について、特許、意匠、商標、ISO 規格化活動を中心に事例研究を含んで解説する。
さらに開発テーマ設定、開発実務で必要な知的財産情報の利用方法についてオープンイノベーションを含めた事例を紹介する。
なお講師は、2006 年以來 ISO 第122技術委員会(包装)のコミッティーマネージャ(旧省:国際幹事)である。

【講座内容】

1. 包装分野にかかる知的財産の状況と国際規格化活動の現状
2. 知的財産権の取得、活用、ライセンスングにおけるポイント
3. 事例研究(特許、意匠、商標、不正競争防止法など)
4. 知的財産情報の種類
5. 包装開発の流れと知的財産情報の活用の実際
6. テーマ探索と特許調査
7. 事例研究

お問い合わせ先

日本包装コンサルタント協会(JPCA)

講座担当(白倉) FAX;03-3465-5493

Email ; shirakura@kuramae.ne.jp